



ほけんだより

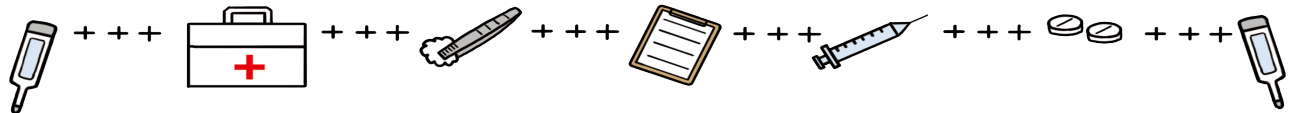
9月号



発行日 令和6年9月2日

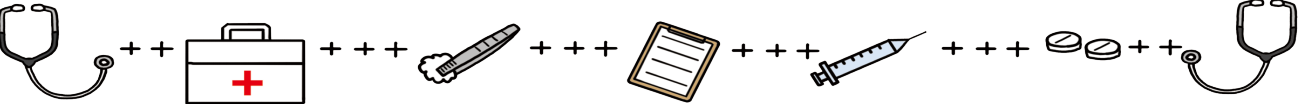
スケッチ保育園

残暑は厳しいものの、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。元気いっぱい夏を過ごしたお子さま達。夏の疲れが出やすくなる時期ですので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして、体調を崩さないようにしましょう。



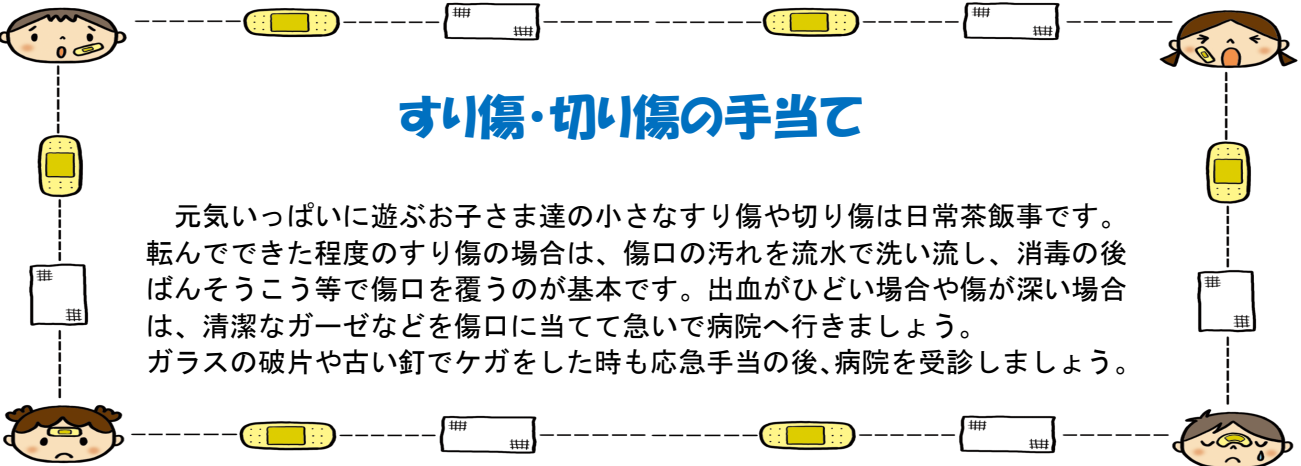
9月9日は救急の日～ケガに繋がらない 備えをしましょう～

家庭内で起こりやすい事故として、誤飲があります。タバコの吸い殻・電池・薬等危険なものは子どもの手の届かない場所に保管することが基本です。お風呂での溺水も多く、バスタブには水をためたままにしないか、浴室には鍵をかける等の対策が必要です。子どもの発育が、現在どれくらいのことのできるのかをよく知らないことから事故は起こります。子どもはあっという間に大きくなり、歩きはじめ、走り、よじ登り飛び上がり、全ての物に興味を持つようになります。この頃は、一生のうちでも、最も怪我の多い時期です。しかし、まだ自分で身を守ることはできないため、保護者がいつも事故が起こりうることを忘れず、子どもを事故から守りましょう。



すり傷・切り傷の手当て

元気いっぱい遊ぶお子さま達の小さなすり傷や切り傷は日常茶飯事です。転んでできた程度のすり傷の場合は、傷口の汚れを流水で洗い流し、消毒の後ばんそうこう等で傷口を覆うのが基本です。出血がひどい場合や傷が深い場合は、清潔なガーゼなどを傷口に当てて急いで病院へ行きましょう。ガラスの破片や古い釘でケガをした時も応急手当の後、病院を受診しましょう。



くつの選び方

子どもの足は非常にデリケートとされています。最近、土踏まずのアーチが形成されていない偏平足の子どもが増えています。その原因の一つに「くつの選び方の間違い」があります。足に合っていないくつを履いていると、姿勢も悪くなり、そのまま骨格が形成されてしまうので、足に合ったくつを選び、思い切り遊ばせてあげましょう。